

マヨルカ島の観光資源と 交通インフラ

中央復建コンサルタンツ(株) 南部 浩之
(株)安藤・間 清原 亮

1. 視察のねらい

- ・ 欧州の主要な観光地であるマヨルカ島の観光手法と資源を把握
- ・ 観光地における公共交通機関の運営方法
(マヨルカ島へのアクセス、島内の交通)
- ・ JAPIC沖縄プロジェクトとの関連性
(空港二極化、観光地、公共交通機関)



バルデモサの街並



カルトゥハ修道院とショパン像

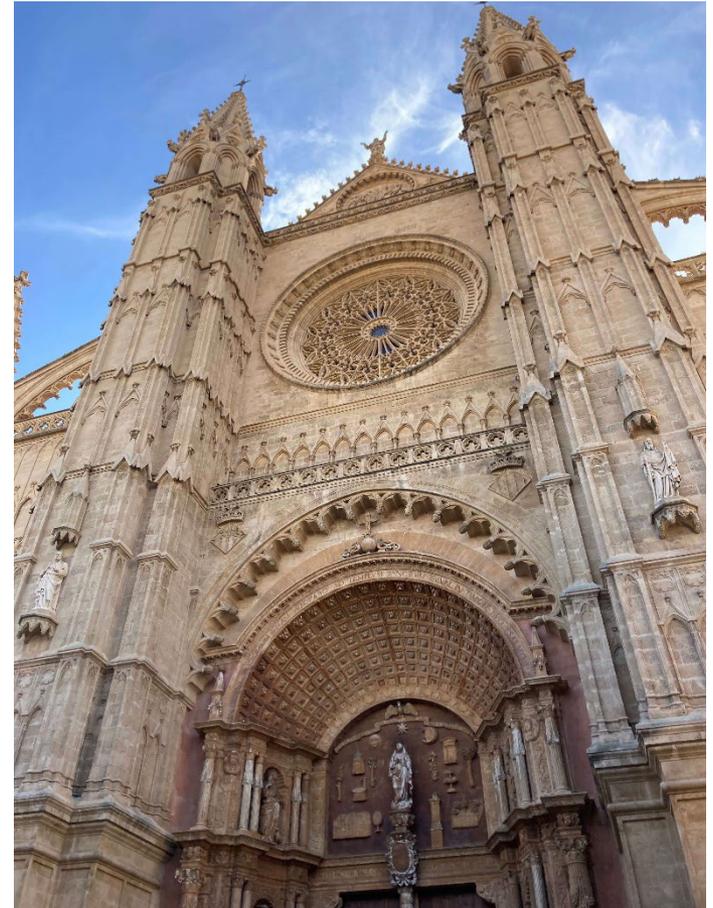
2. マヨルカ島の概要

- ・地中海西部、バレアレス諸島(州)最大の島(州都:パルマ・デ・マヨルカ)
- ・面積:3,640m²(沖縄の約3倍)、人口:約94万人(沖縄の2/3)
- ・平地は年間300日の好天日
- ・主な産業:観光(域内総生産の6割)、冬期は観光客が来ない



ベルベル城(1309年)

2. マヨルカ島の概要



パルマ大聖堂(1601年)

3. マヨルカ島の観光

	マヨルカ島	沖縄
年間観光客数	約1,300万人	約1,000万人(2024年)
国別	ドイツ・イギリスで6割	台湾、韓国、中国
観光目的	1週間程度のバカンス	観光地巡り
移動手段	公共交通機関	レンタカー
滞在日数	約8.5日	約3日



ソリエルのビーチ



アルクディアのヨットハーバー

4. マヨルカ島の観光(船舶)

- ・港にスーパーヨット(全長24m以上)、ヨット、クルーザーが多く停泊
- ・ユーロ圏の裕福層が所有、レジャーで利用(パーティ、ダイビング)
- ・地中海を周遊するクルーズ船が寄港、パルマ市内を観光。



パルマのヨットハーバー



アルクディアのヨットハーバー

4. マヨルカ島の観光(船舶)



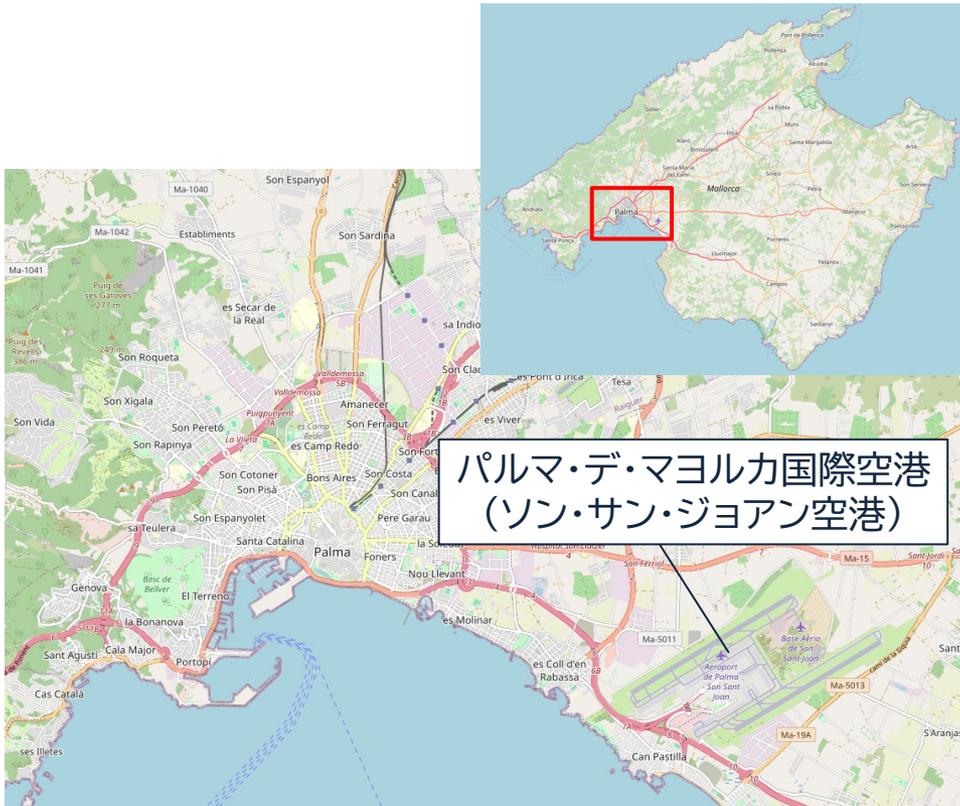
パルマ港のクルーズ船



クルーズ船の乗船施設

5. 交通インフラ(空港)

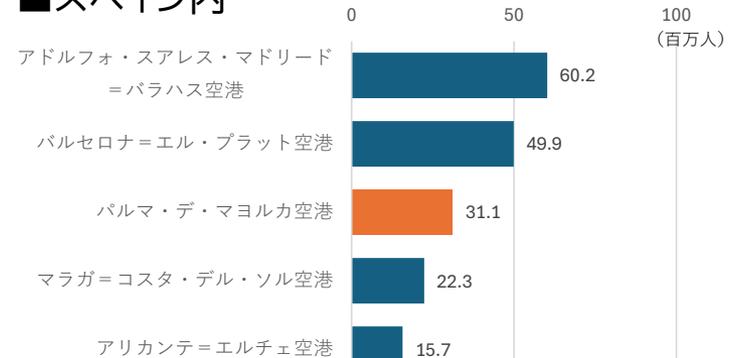
- 旅客数は約3,100万人で、スペイン第3位の空港(成田空港と同等)。
- そのうち国際便は2,100万人を上回る。
- 旅客数は増加しており、2023年にはパンデミック前の2019年を4.7%上回った。



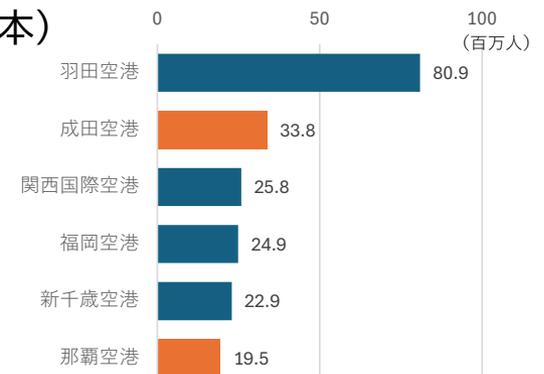
Palma・デ・マヨルカ国際空港
 (ソン・サン・ジョアン空港)

<旅客数(2023年)>

■スペイン内

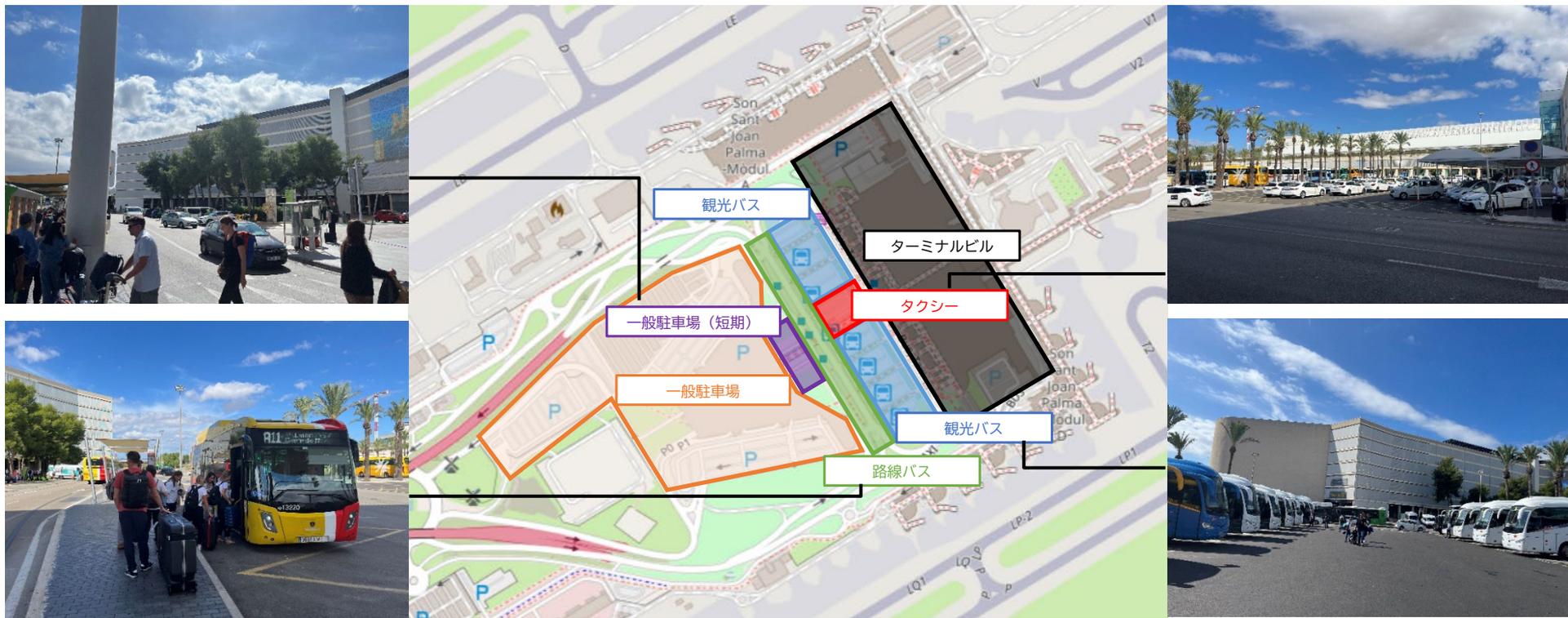


■参考(日本)



5. 交通インフラ(空港)

- ・マヨルカ空港はパルマ市街から東に8km
- ・空港アクセスは路線バス、観光バス、タクシー、自家用車のみ
- ・空港にアクセスする高速道路は交通渋滞が発生
- ・パルマのスペイン広場駅を発着する空港アクセス鉄道の計画あり



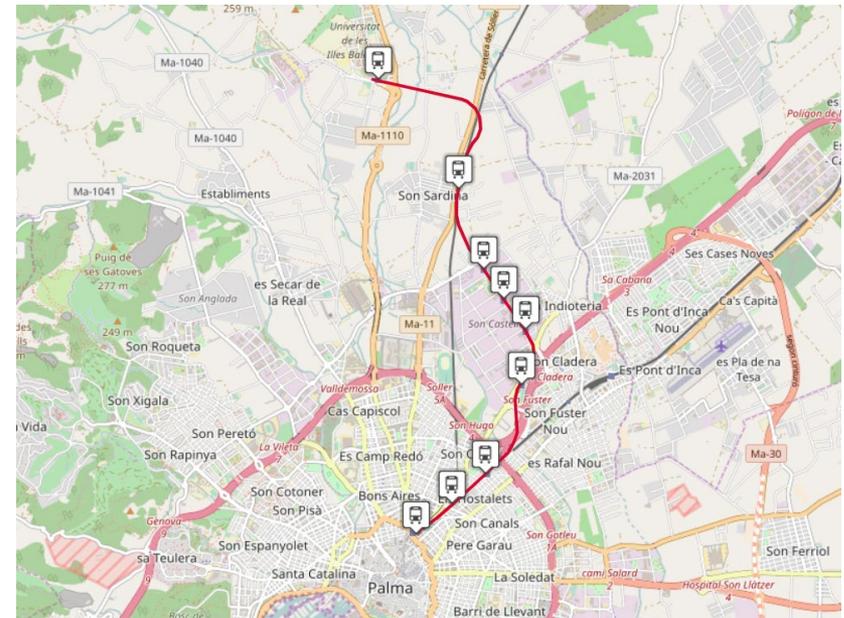
5. 交通インフラ(鉄道・路面電車)

①マヨルカ鉄道

- ・パルマを起点に鉄道3系統と、地下鉄1系統を運行
- ・過去にモータリゼーションの進展により一部廃線、近年復活(一部)
- ・パルマから空港へのアクセス鉄道の計画あり



鉄道路線



地下鉄路線

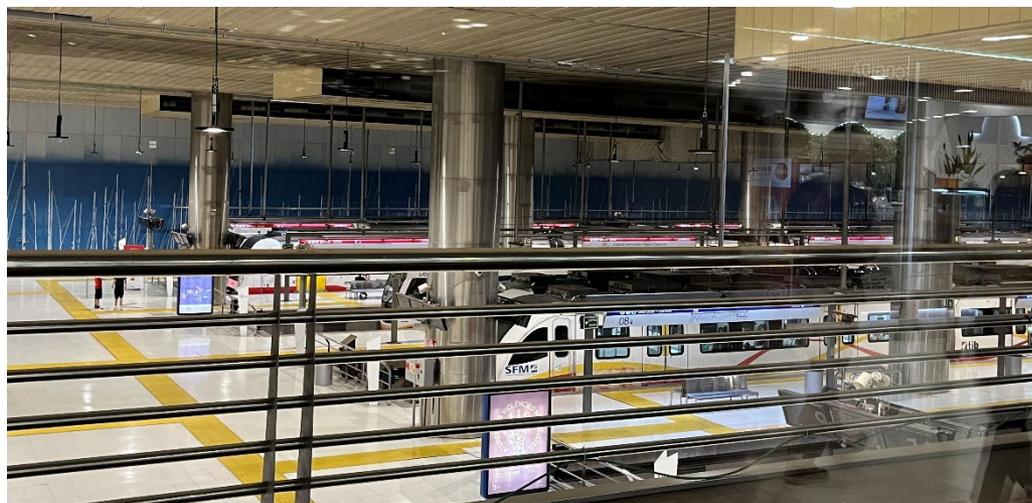
5. 交通インフラ(鉄道・路面電車)



スペイン広場駅



マヨルカ鉄道の車両



スペイン広場駅内

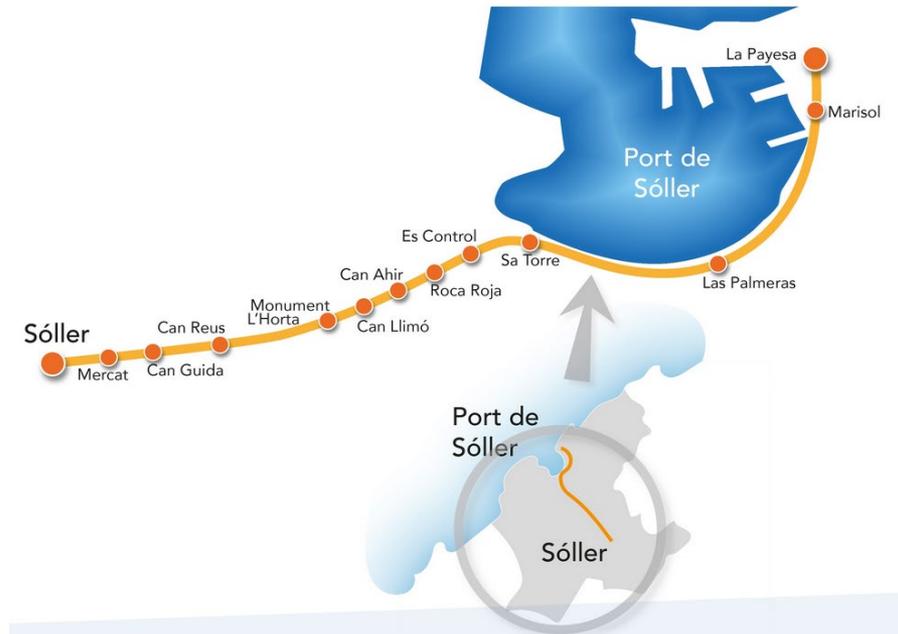
5. 交通インフラ(鉄道・路面電車)

②ソリエル鉄道

- ・鉄道1系統と、路面電車1系統を運行
- ・鉄道は、パルマとトラムンターナ山脈内のソリエル市街地との間を運行
- ・路面電車は、ソリエル市街地とソリエル港の間を運行
- ・観光客による利用が中心となっており、運賃は高価



鉄道路線



路面電車路線

5. 交通インフラ(鉄道・路面電車)



鉄道の車両



路面電車の車両



ソリエル駅(鉄道)



ソリエル駅(路面電車)

5. 交通インフラ(バス)

①tibによる路線

- 島内各エリアで運行しているバス運行会社により、パルマを中心として、島内全体に展開。
- マヨルカ島を訪れる観光客も多く利用しており、シーズン(夏、冬)によって路線が変わる。



tibによるバス路線図(夏)

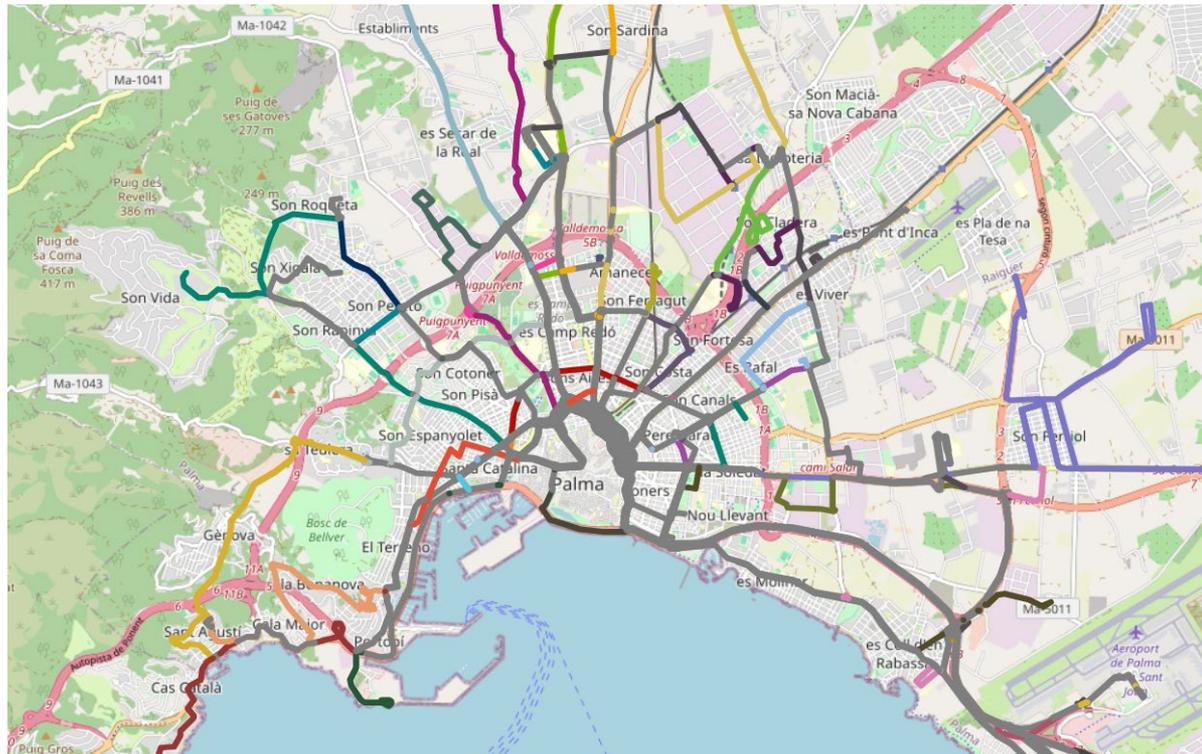


tibによるバス路線図(冬)

5. 交通インフラ(バス)

②eMTによる路線

- ・パルマ都市部、空港、港への路線を運行。
- ・パルマ市の施策として、2023年から市民カード所有者は年間を通して無料でeMTのバスを利用可能。



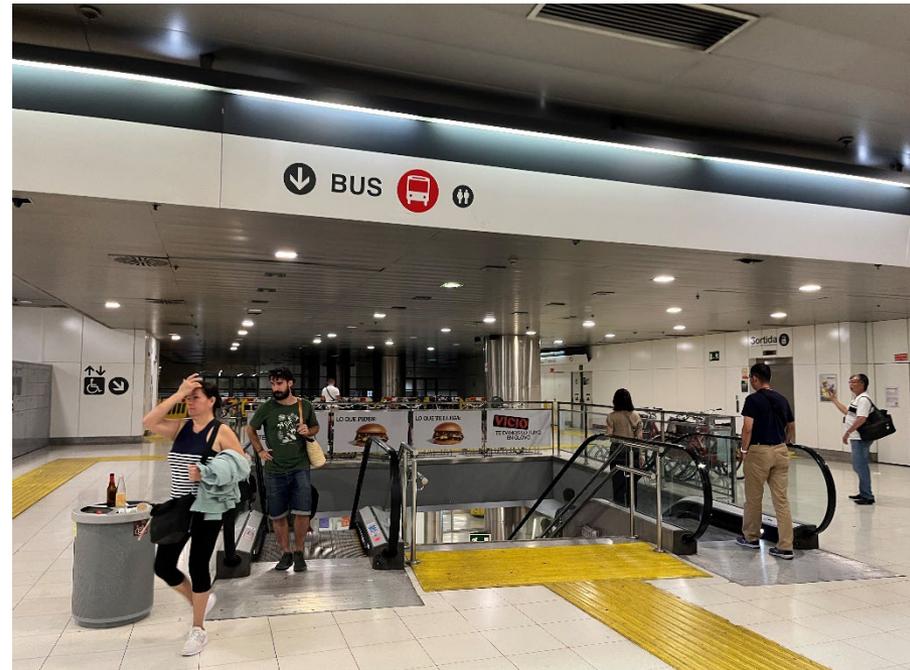
eMTによるバス路線図

5. 交通インフラ(交通結節点)

- ・パルマ中心部のスペイン広場駅が鉄道、バスの起点。
- ・地下の鉄道駅のさらに下の階層にバスターミナルが配置されており交通結節点となっており、乗り継ぎの利便性が高い。



スペイン広場駅入口



バスターミナルに接続

5. 交通インフラ

■tib(TRANSPORTS DE LES ILLES BALEARS)

- ・マヨルカ交通協会により運営
- ・都市間公共交通機関のすべての手段（バス、電車、地下鉄）を統括したサービス
- ・tibとeMTの統合により、公共旅客輸送の大規模ネットワークを構成予定。
⇒ソリエル鉄道以外の公共交通が一体的なシステムとして運用

事業会社(現状)

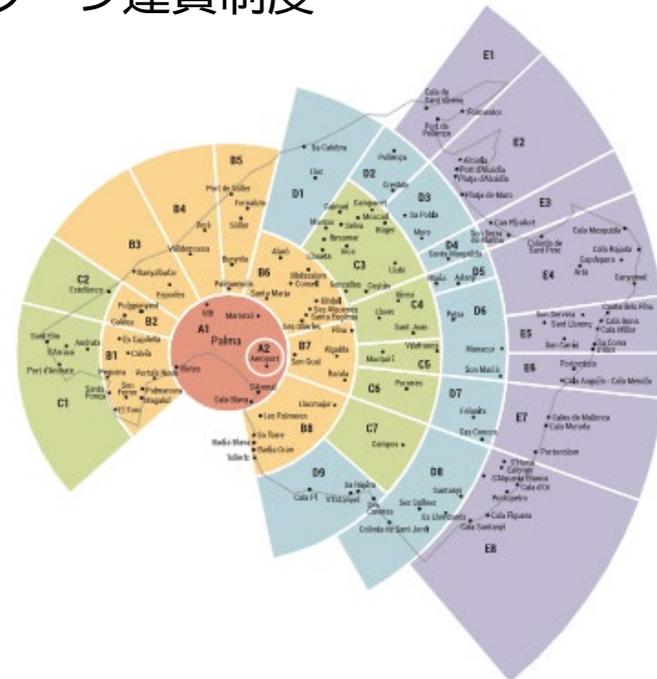
■バス

<ul style="list-style-type: none"> ・Moventis Illes マヨルカ島西部地域でサービスを提供 	
<ul style="list-style-type: none"> ・Ruiz Group - Martin Mallorca Company マヨルカ島北部地域でサービスを提供 	
<ul style="list-style-type: none"> ・Sagalés Caldentey マヨルカ島東部およびミジヨルン地域でサービスを提供 	

■電車と地下鉄

<ul style="list-style-type: none"> ・Servicios Ferroviarios de Mallorca マヨルカ島交通省の管轄下にある公共機関 電車(T1、T2、T3)、メトロ (M1) 	
---	--

ゾーン運賃制度

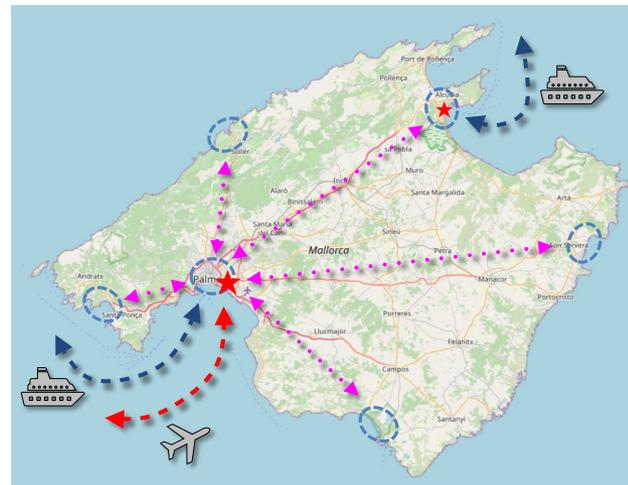


6. 視察を終えて

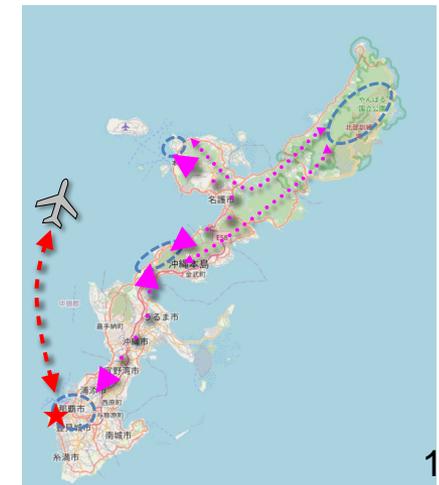
■ 沖縄と比較して

- ・観光形態が違う: マヨルカ島での観光は長期滞在型が主
⇒ 観光地を周遊するような高頻度の人々の移動が生じない
- ・アクセス手段の選択肢がある: 飛行機、フェリー、港も複数
⇒ 空間的・時間的に交通が分散される
- ・公共交通機関の利便性が高い: tibによる運営の統合
⇒ 観光客が公共交通を使いやすい、交通手段の分散

【マヨルカ島】



【沖縄】



交通の集中が生じにくい
観光・交通体系